

夢の愛車を探しに行こう!!

キャンピングカーショー 立ち回り完全ガイド

〈取材会場〉
福岡
キャンピングカー
ショー2022
日時
2022年11月12日(土)13日(日)
会場
マリンメッセ福岡



待ちに待ったキャンピングカーショー!
たくさんのキャンピングカーを見て、お気に入りの1台を見つけるぞ!
でも、その前に、どうやってショーの会場を回ればいいのか?
そんな疑問を持っているあなた!
キャンピングカーショーのおすすめな楽しみ方をレクチャーするよ〜



事前購入でスムーズチェックイン JRVAチケットセンター

電子チケットは日本RV協会チケットセンターで購入できる。サイトへアクセスしたら、行きたいイベントをクリック! 必要事項を入力して決済すれば、チケットは手元に。列に並ぶことなくチケットが手に入る。もちろん、電子チケットでも再入場OK!



01 チケットを見せて入場

まずは会場の中へ。キャンピングカーショーは有料のショーなので、チケットは事前に購入したり、会場のチケット販売所で購入しておこう。チケットが手元にないのに、入場の列に並んでいる人は要注意。スマホで電子チケットを購入することもできるようになったので、急いでいる人はこちらがおすすめ。電子チケットの場合は画面を表示してスタッフへ提示するだけだ。



入り口でマップを入手。各キャンピングカーがアイコンで表示されているので便利。

02 場内マップで見たいブースをチェック

お目当てのブースがあれば、会場マップで確認しておこう。もしなければ、クルマのアイコンを見て、自分が探している車種が集まっている場所をチェックする。サイズも決まっていなければ、とにかく、キャンピングカー展示ブースのエリアへGO!



 フルコン (Full Motorhome)	 バスコン (Bus Motorhome)	 キャブコン (Cab Motorhome)	 バンコン (Van Motorhome)	 軽キャンパー (Light Camper)	 トレーラー (Trailer)	 トラックキャンパー (Truck Camper)
まるごとキャンピング車 フルコンはエンジン・フル装備のキャンピング車。メーターが設置された。	大抵ボディがひたひた バスコンはバスボディをベースとしたキャンピング車。メーターが設置された。	車中で自由に暮らせる キャブコンはキャブボディをベースとしたキャンピング車。メーターが設置された。	なじみやすい大きさ バンコンはバンボディをベースとしたキャンピング車。メーターが設置された。	コンパクトでお手軽 軽キャンパーは軽自動車ボディをベースとしたキャンピング車。メーターが設置された。	自家消費とついで トレーラーはキャンピング車と別体のボディをベースとしたキャンピング車。メーターが設置された。	いろんな形に対応可能 トラックキャンパーはトラックボディをベースとしたキャンピング車。メーターが設置された。

会場入り口に大きなマップが設置されていることもある。中に入ったら、どうやって回るかをイメージしておく、効率よく会場を回れる。



03 自分にピッタリのサイズは？ 車種別のサイズ感をチェック

キャンピングカーの 카테고리によって、クルマのサイズが決まってくる。室内にもそれぞれの特徴があり、ベストなレイアウトというのは人それぞれ。それを見つけるのがキャンピングカーショーの醍醐味でもある。そこで、最初にキャンピングカーの 카테고리別サイズ感や装備をイメージしておくことが大切になるのだ。



遊びにも 普段使いにも大活躍 **バンコン**

ミニバン感覚で乗ることができるキャンピングカーだ。ベース車両によって、長さや高さが変わるので、自分サイズを見つけやすい。メーカーによって、レイアウトのバリエーションも豊富。室内もしっかり見ておこう。



圧倒的な広さが魅力 **輸入クラスA**

輸入車の中には国産車にはない大きなモデルもある。室内は広々としていて、キャンピングカー先進国の洗練された調度品がインテリアを飾る。広さを求めるのであれば、輸入車クラスもチェックしてみるのもいいだろう。



コンパクトで小回り抜群

軽 キャンパー

知らない街の細い道であっても、安心してドライブできるサイズ感。その取り回しの良さが人気で、渓流釣りなどの林道走行するオーナーも多い。室内はしっかりとベッドが確保されているので、夜もぐっすり就寝可能。



キャンピングカーの 代名詞

キャブコン



キャンピングカー用に開発されたトラックをベースにした定番スタイルのキャンピングカー。普通乗用車の駐車スペースに収まるコンパクトモデルもあり、見た目以上に運転しやすい。室内で立って移動できるストレスフリーな環境で、長期のキャンピングカー旅行にもピッタリのモデル。



快適性・居住性・ 走行性能を追求

バスコン



マイクロバスをベースにしているので室内は広々。客室キャビンを架装したタイプとベースボディをそのまま使ったタイプがある。国産モデルのなかでは、クルマのサイズも車内空間も最も広いキャンピングカーになる。

04 キャンピングカーには快適装備が満載

クルマをキャンピングカーとして登録する時、寝る場所と水道・調理設備があることが必須条件となる。それ以外にも車内で過ごすため、いろいろな設備がキャンピングカーには用意されている。モデルによってその内容は違ってくるが、各メーカーは限られたスペース内で快適に過ごせるように、レイアウトを工夫したり、設備を厳選しながらアイデアを絞り出している。



マルチルーム

トイレやシャワーが設置されたキャンピングカーもある。設備はなくても、トイレを設置できるマルチルームというスペースを確保しているモデルも多い。



冷蔵庫

長旅になるキャンピングカーにとって、冷蔵庫があると便利だ。クーラーボックスのように氷を準備する必要もなく、地元の海産物なども購入しやすくなる。



キッチン

キャンピングカー登録されるクルマにはシンクが装備されている。調理に使わなくても、余った飲み物を流したり、手を洗ったり、いろいろな場面で重宝する。



設備は設置されている位置などのレイアウトも大切。動線が確保され、作業しやすい場所にあることを確認。実際の利用シーンをイメージしてみるのもいい。

05 各ショップの特徴を確認して キャンピングカー選びの基準に

キャンピングカーを販売しているショップには、いろいろなパターンがある。自社で作っているキャンピングカーのみを扱っていたり、各ビルダーの作ったキャンピングカーを販売するショップもある。その他、軽キャンパー専門店など、車種に特化したショップもあるので、好みのキャンピングカーが決まったら、ショップの特徴を意識しながらブースを回ると、お気に入りの1台を見つけやすい。



自社ブランドを展開する

キャンピングカービルダー系

自社でキャンピングカーを作っているビルダー系ショップは、製造から販売、アフターメンテナンスまで一貫して行われている。軽自動車から大型まで、幅広い車種を製造しているメーカーもあり、同じブランドでサイズの異なるキャンピングカーを比較できるのもいい。



たくさんの車種を取り揃える ディーラー販売店

自社以外にも、たくさんのブランドを扱っている販売店がある。各ブランドの代理店となり、日本全国のお客さんとメーカーの橋渡しをしているのだ。ここではいろいろなブランドを同時に検討できるのが便利。



専門性を追求した 車種限定専門店

軽自動車専門店など、単一車種に限定したショップもある。車種を限定することで、各車両の特徴を活かしたモデルが目立つ。もし、最初から軽自動車、ハイエースなど、車種を決めているのなら専門店もチェックしてみよう。

06 スペックシートをチェックしてみよう

展示されているキャンピングカーには、右の共通スペックシートが提示されている。統一フォーマットになっているので、キャンピングカーを比較検討する時の参考になる。このスペックシートの見方は簡単。各項目をチェックしてみよう。

- ① バンコン・キャブコンなどキャンピングカーの種類が記されている。求めているタイプが決まっているのなら、まずはここをチェック。
- ② メーカーの名前と車両名はここを見る。販売店の名称とメーカーが違うこともあるので、メーカーの名前はよく確認しておこう。
- ③ クルマの基本的なスペック。乗車定員、就寝定員、クルマのサイズなどが記されている。中古車両の場合は走行距離や車検有効期限なども表記される。
- ④ オプション装備を抜いた車両本体価格。この価格がベースとなって、オプションなどの装備品を追加しながら見積り金額が出る。
- ⑤ キャンピングカーに設定されている装備品の一覧。標準装備される装備やオプションで取り付けるものなどが詳しく載っている。
- ⑥ このスペックシートが提示されているクルマに取り付けられた装備品の一覧。参考となるオプション価格なども載っている。
- ⑦ 展示車両の価格を表記。オプション装備品などを追加して、展示車両の仕様にした場合の車両参考価格が記されている。

この車のタイプは ① _____

メーカー: ② _____ 輸入 () _____

車両名: _____

③ **主要諸元**

乗車定員 / 就寝定員 : _____ 人 / _____ 人

全長×全幅×全高(mm) : _____ × _____ × _____

ベース車: _____ 排気量: _____ cc

燃料: _____ 最高出力: _____ PS

駆動方式: _____ ミッション: _____

初年度登録年月: 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 走行距離: _____ km 車層: _____

引き渡し条件: _____ 車検有効期間: _____ 年 _____ 月 _____ 日

④ **車両本体価格: ¥ 11,000** (この価格は税込表示です)

装着装備品 (装着無しは _____)

エアコン	リアヒーター	FFヒーター
給水タンク	排水タンク	調理器具
シャワー	温水装置	トイレ
サカイリフト	外部電源	カーテン
キッチン	ルーフベンチ	専用ベッド
発電機	レーダー	収納庫

⑤ 展示車に装着されているオプション(OP)・参考装備品(参考) (価格は全て税込です)

_____	¥ _____
_____	¥ _____
_____	¥ _____
_____	¥ _____

⑥ **この展示車の価格は ¥ 11,000** (消費税込価格)

※諸費用等別途 (消費税抜価格 ¥ 10,000)

⑦ 出展社名: **くるま旅** 一般社団法人日本RV協会会員 JRVA

07 気になる車が見つかったら...

会場を回って、気になるキャンピングカーがあったら、ブースで詳しく話を聞いてみよう。とりあえず資料をもらったり話を聞くだけでもOK。



① カタログをもらう

各ブースではカタログが配られている。簡単なアンケートが必要なブースも多いが、せっかく会場まで来たのだから、たくさんカタログをもらうことをおすすめする。



② 詳しく説明を聞く

装備などについてもスタッフに聞いてみよう。作りのこだわりや便利な使い方まで教えてくれるかもしれない。また、メーカーの雰囲気なども感じ取れるだろう。



③ 見積もりをもらう

自分が求めるキャンピングカーには、どの程度の資金が必要なのか? それを知るためには見積もりが必要だ。金額が提示されることで計画も立てやすくなる。

気になったクルマMEMO

キャンピングカーショー会場でメモして、家に帰ってからの検討材料にしてみよう

欲しい順位	メーカーの名前	クルマの名前	だいたい金額	営業さんの名前	予定納期

08 楽しい催し物もいっぱい

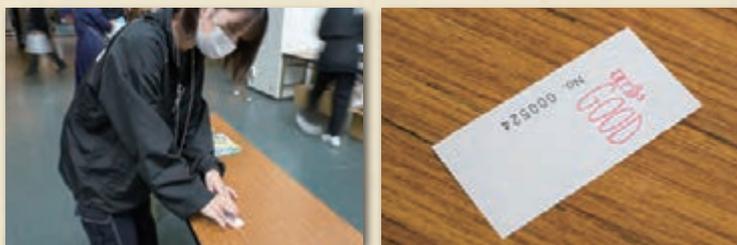
たくさんあるキャンピングカーを見て歩き回り、ちょっと疲れた…。そんな時は会場を離れて、ケータリングなどで一息入れるのもいいだろう。イベントによっては子供向けの遊び場などが設置されていることもある。ペットの来場も可能な会場もあるので、イベント詳細をチェックしてみよう。



ステージではいろいろな催しが行われている。キャンピングカーについてのトークショーであったり、子供向けのショーなど、その内容は充実している。ショーのプログラムなどはステージ横やパンフレットに記載されている。

09 再入場もOK!!

会場を後にしたけど、気になってしまい、もう一度会場へ戻りたい、という来場者も多い。そんな時のためには、再入場できるよう、スタッフに再入場用の処理してもらおう。電子チケットなどは会場によっても違うので、スタッフに確認を。



NO

展示車両を見るときにやってはいけない事、注意する事

勝手に車両を撮影してはダメ×



キャンピングカーのモデルの中には、開発中のモデルであったり、展示会先行公開などのモデルも存在している。SNSなどにすぐにアップされては困る車種もあるので、スタッフに撮影可能かを確認するのがマナー。

シートアレンジはスタッフへ



シートレイアウトなどの変更は、知っているもスタッフにお願いしよう。展示車両の破損につながったり、思わぬ怪我をすることもある。来場者みんなが楽しくキャンピングカーを見学できるように、自分勝手な行動は厳禁。

クルマの中は許可を得てから



車内を見学したいのであれば、スタッフに声をかけてから中へ入ろう。また、安全面から、子供たちだけで車内に入ることを禁じているメーカーも多い。キャンピングカー車内は土足厳禁なので、まずはクツを脱いでから。

スイッチなどに触れないこと



車内にはいろいろなスイッチがある。展示車両によっては、スイッチを入れることで設備が壊れてしまうこともあるので、勝手にスイッチを操作することは禁じられている。機能を確認したいのであればスタッフに声をかけよう。

10 欲しい車が決まったら・・・

キャンピングカー購入の意思が決まったら、とうとう契約だ。契約には改めて販売店へ足を運んだりすることも多いが、特に遠方の方の場合は、会場でも契約を交わすことがある。契約時には、取り付けたいオプション装備品を選んで、オーダーのできる場合は、家具やシート生地のセレクトも必要となる。実際のキャンピングカーに生地サンプルをあてて、全体のイメージを想像しながら仕様を決めていくのは、楽しい時間となることだろう。



契約書へのサインは緊張するが、ここから充実したキャンピングカーライフがスタートする。クルマの仕様をスタッフと相談しながら、自分のキャンピングカー作りを楽しんでしまおう。

11 ローンでの購入を検討なら

キャンピングカー購入にローンを使う人も多い。比較的、長期間乗ることになるので、普通の乗用車とは違った感覚かもしれない。家と同じように長期ローンを組んで、毎月の支払いを少なくすれば、今まで無理だと思っていたキャンピングカーも身近に感じることだろう。会場にはローンを扱う会社がブースを出しているので、資金について気軽に相談できるようになっている。各ショップとの連携も取れているので、契約もスムーズだ。



日本RV協会会員のお店で買えば使える
**JRVA特別オートローンも
ご用意してます!!**

※ 詳しくは巻末23ページのトピックスをご覧ください。

**最大
240回
払い**

12 日本RV協会 会員の証 JRVAステッカー

キャンピングカー関連企業が集まった日本RV協会は、安全、快適なキャンピングカーの発展をサポートする業界団体。所属する会員企業が販売するキャンピングカーには独自の認定ステッカーを張って、シリアルナンバーで管理を行っている。また、会員企業から購入したユーザーには、ユーザーサポートネットワークというリストが渡され、購入店以外であっても、日本RV協会会員の企業でメンテナンスを受けることができるサービスも提供される。右のシルバーのステッカーが貼ってあることが、日本RV協会により登録されている証となるのだ。



※ 詳しくは8ページのトピックスをご覧ください。